

都市再生整備計画 事後評価シート
阿久和・宮沢地区

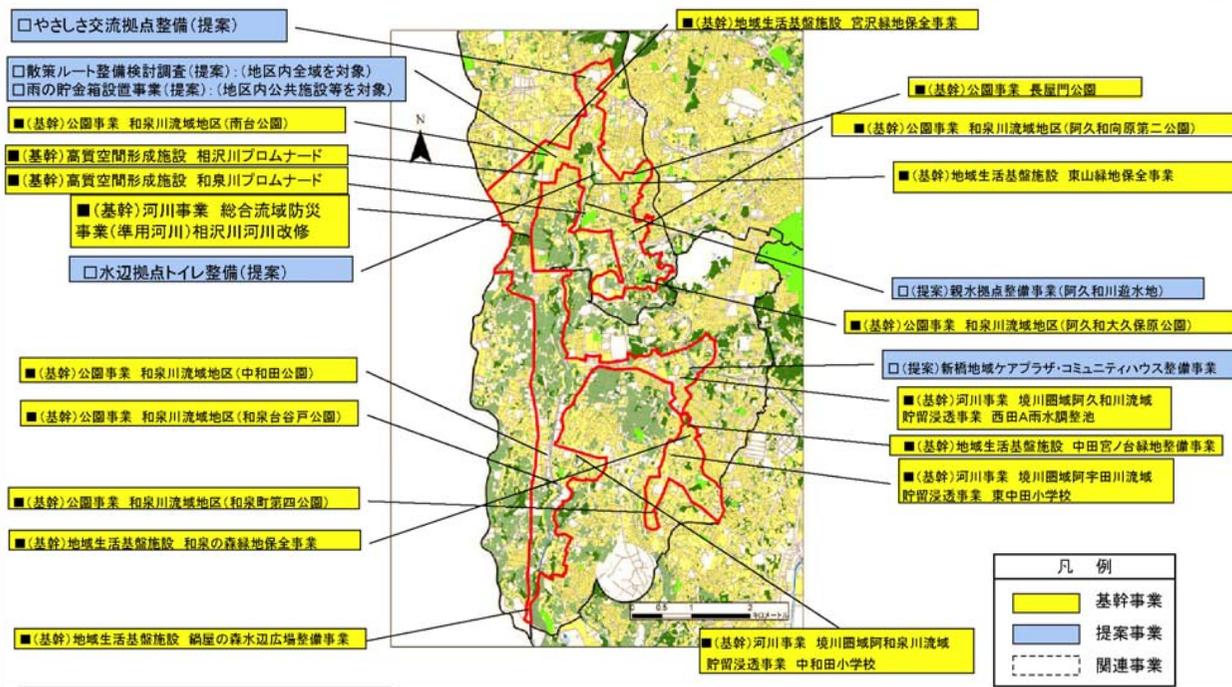
平成23年3月

神奈川県横浜市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	横浜市		地区名	阿久和・宮沢地区			面積	858ha
交付期間	平成18年～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	7695.7百万円	国費率	40%		
1) 事業の実施状況	事業名										
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園(長屋門公園)、地域生活基盤施設(東山緑地保全事業、宮沢緑地保全事業)								
		提案事業	親水拠点整備事業、雨の貯金箱設置事業、散策ルート検討調査								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	公園(阿久和大久保原公園、阿久和向原第二公園) 公園(瀬谷谿窪公園)、親水拠点整備(阿久和川遊水地)			削除/追加の理由 公園(和泉川流域地区)に統合 期間内の整備が不可能となったため			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 影響なし		
		提案事業	なし								
	新たに追加した事業	基幹事業	公園(和泉川流域地区)、河川(相沢川準用河川改修事業、境川圏域阿久和川流域貯留浸透事業、境川圏域宇田川流域貯留浸透事業、境川圏域和泉川流域貯留浸透事業)、地域生活基盤施設(泉の森緑地保全事業、中田宮ノ台緑地整備事業、鍋屋の森水辺広場整備工事)、高貴空間形成施設(相沢川プロムナード、和泉川プロムナード)			水と緑を身近に感じる生活環境の推進を目的に、ネットワークや拠点の拡充を図るため、事業を追加			水と緑の保全活動に係わる市民の人数の指標に関係するため、指標1の数値目標を上方修正		
提案事業		親水拠点トイレ整備、新橋地域ケアプラザ・コミュニティハウス整備事業、やさしさ交流拠点整備(地域ケアプラザ・福祉保健活動拠点・精神障害者生活支援センター・区民活動センター・地域子育て支援拠点)			親水拠点トイレ整備:水と緑を身近に感じる生活環境の推進を目的に、拠点の利用促進を図るため、事業を追加 やさしさ交流拠点整備、新橋地域ケアプラザ・コミュニティハウス整備事業:地域の福祉保健サービス・地域活動の拠点として追加			親水拠点トイレ整備:水と緑の保全活動に係わる市民の人数の指標に関係するため、数値目標を上方修正 新橋地域ケアプラザ・コミュニティハウス整備事業、やさしさ交流拠点整備の追加により、指標3を追加			
交付期間の変更	当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし					
	変更	なし									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	水と緑の保全活動等に係わる市民の人数	人	3,800	平成16年度	4,400	平成22年度	4,454	○	あり - 公園事業、河川事業、点在する緑地や親水拠点のネットワークにより、愛護会活動が活発化した。 なし -	平成24年6月
	指標2	長屋門公園の利用者数	人/年	13,619	平成16年度	14,981	平成22年度	18,534	○	あり - 地域の拠点である長屋門公園と周辺の和泉川流域地区公園、緑地、河川事業の相乗効果によって、利用が促進された。 なし -	平成24年6月
指標3	ボランティア団体数	団体	119	平成17年度	155	平成22年度	165	○	あり - やさしさ交流拠点等の地域住民の活動拠点が整備されたことにより、ボランティア活動が活発化した。 なし -	平成24年6月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1										
	その他の数値指標2										
その他の数値指標3											
4) 定性的な効果発現状況	公園事業や河川事業において整備内容に関する意見交換会を開催したことにより、愛護会活動等の地域活動における意識が高まり、今後の活動の発展が期待される。										
5) 実施過程の評価	実施内容										
	実施状況										
	今後の対応方針等										
	モニタリング	指標1～3に関するモニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●		継続的に数値を確認する。		
住民参加プロセス	公園事業や河川事業などの整備について、住民参加の意見交換会等により合意形成を行った。施設に関心を持ってもらうことで、水と緑の保全活動に参加する人数増につながった。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●		今後も市民から意見を寄せていただき、地域住民に親しまれる施設を目指す。			
持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

阿久和・宮沢地区(神奈川県横浜市) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値		
阿久和川、和泉川周辺の水と緑の環境資源を保全・活用・再生し、これらをネットワークすることによって、誰もが身近な水と緑の環境に親しめるようにすることで、水と緑を身近に感じられる安らぎのある生活環境を整備・保全します。	水と緑の保全活動等に係わる市民の人数	単位：人	3,800	H16	4,400	H22	4,454	H21
	長屋門公園の利用者数	単位：人/年	13,619	H16	14,981	H22	18,534	H21
	ボランティア団体数	単位：団体	119	H17	155	H22	165	H21
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>和泉川プロムナードの整備</p>  <p>新橋地域ケアプラザ・コミュニティハウスの整備</p> </div> <div style="width: 55%; text-align: center;">  <p>凡例 基幹事業 提案事業 関連事業</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>東山緑地の保全</p>  <p>和泉谷戸公園の整備</p> </div> </div>								
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 公園、緑地、河川が保全、整備され、身近な水と緑の環境に親しめるようになり、親水機能や治水安全度も向上し、散策や休息の場、まちづくり活動の場として広く活用されている。 歴史的建造物などの地域資源が保全・活用され、水と緑の歩行者ネットワークで繋がっている。 市民活動を支援する地域交流拠点を整備することで、市民の交流・活動が活発に行われている。 地域住民の意見を取り入れた内容の整備を行い、施設への関心を高めることができた。 							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 行政による維持管理業務と安全確保、公園愛護会・水辺愛護会による清掃活動等を相互に行うことで、今後も良好な緑、水環境の維持に努める。 ボランティア団体、愛護会等の地域住民の活動の継続、定着化のため、活動拠点の整備後も活動団体への必要な支援を行い、市民と行政とのパートナーシップを継続する。 地域資源への理解向上、活用を図るため、地域資源に親しみ、拠点をつなぐ歩行者ネットワークのPRを行う。 良好な環境の整備により利用が促進され、ゴミの散乱等の人が集まることにより生じるマナーの問題が懸念されるため、利用者の意識啓発に努める。 水辺に親しめる環境の整備により水辺の利用機会が増加する中で、誰もが安全に利用できるよう、行政が適切な管理を行うことに加え、利用者に安全に利用するための知識を身につけてもらうようPRや点検を行う。 地区の骨格となっている河川に親しむための拠点と歩行者ネットワークの更なる拡充のため、相沢川において親水拠点とプロムナードの整備を進める。 							

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
阿久和・宮沢地区

平成25年3月

神奈川県 横浜市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	水と緑の保全活動等に係わる市民の人数	人	3,800	4,400	4,454	確定 見込み ○	○	あり なし	16,962	H24年6月	○	新設2公園の愛護会活動が、予想以上に活発だった。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	公園事業、河川事業、点在する緑地や親水拠点のネットワークにより、愛護会活動が活発化した。
指標2	長屋門公園の利用者数	人/年	13,619	14,981	18,534	確定 見込み ○	○	あり なし	17,748	H24年6月	○	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地域の拠点である長屋門公園と周辺の和泉川流域地区公園、緑地、河川事業の相乗効果によって、利用が促進された。
指標3	ボランティア団体数	団体	119	155	165	確定 見込み ○	○	あり なし	181	H24年6月	○	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	やさしさ交流拠点が整備されたことにより、地域住民の活動拠点となり、ボランティア活動が活発化した。
指標4						確定 見込み ○		あり なし		H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み ○		あり なし		H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み ○				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み ○				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み ○				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	良好な緑、水環境の維持管理	・行政と愛護会との連絡調整による情報共有 ・地域活動の拠点としてのイベント開催	行政による適切な維持管理業務と安全の確保、 公園愛護会、水辺愛護会による清掃活動等を 相互に行うことで、良好な環境を維持した。	
	ボランティア団体、愛護会等の地域住民の活動の継 続、定着化	・市民活動団体への支援 ・参加者確保のための広報活動	活動団体への必要な支援を行ったことで、活動が 活発に行われている。	
	地域資源に親しむための歩行者ネットワークのPR	・散策ルートのマップの作成 ・ウォーキングイベントの開催	地域活動団体主催のウォーキングイベントが月に 1回程度開催され、瀬谷の地理・自然・歴史等を 知る機会が広く提供されることで、地域資源に親し むための歩行者ネットワークのPRができています。	
改善策 ・まちづくりの目標を達成するた めの改善策 ・残された課題・新たな課題への 対応策 ・その他 必要な改善策	相沢川等における親水拠点、歩行者ネットワークの 整備	・地域生活基盤施設(相沢川水辺広場) ・高質空間形成施設(相沢川プロムナード)	2期計画をたちあげ、親水拠点、プロムナード整 備事業を確保した。	
	ゴミの散乱等、人が集まることにより懸念される利用 マナーの問題。	・パンフレット、広報を利用したマナー意識啓発	良好な環境を維持するための利用者の意識啓発 の向上を図った。	
	水辺利用機会の増加による利用者の安全確保	・パンフレット、広報を利用した安全な利用に関するPR ・河川の巡視点検	水辺利用機会が増加する中で、誰もが安全に利 用できるよう、行政が適切な管理を行い、利用者 の安全を確保した。	

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(清算報告)

あ く わ み や ざ わ ち く ち く
阿久和・宮沢地区地区

神奈川県 横浜市

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	横浜市	地区名	阿久和・宮沢地区	面積	858 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

目標

阿久和川、和泉川周辺の水と緑の環境資源を保全・活用・再生し、これらをネットワークすることによって、誰もが身近な水と緑の環境に親しめるようにすることで、水と緑を身近に感じられる安らぎのある生活環境を整備・保全します。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

阿久和・宮沢地区は、川沿いの谷戸斜面を中心に緑地が連なって残っている地域であり、都市計画マスタープラン瀬谷区プランにおいて、区の「水と緑の南の拠点」に位置づけられ、都市計画マスタープラン泉区プランにおいても「ゆとりと豊かさのあるまち」を目指すこととされています。

また、阿久和川、和泉川の二本の川は、さらに「水と緑の基本軸」とされて、治水と親水との両立を目指した改修が進行中であり、水辺広場や遊水地が整備されてきており、さらに、流域での水循環の再生なども進めていく必要があります。これらの川に連なる緑地は、一部は公園として保全、整備が進められてきたほか、地権者の理解を得て保全、活用などの取り組みも行われているが、近年、開発により緑地が失われたところもあり、貴重な地域資源として保全することが求められている。

一方、緑地や河川だけでなく、大岡家長屋門など歴史的建造物が、住民グループによって活発に管理運営がなされ、地域コミュニティ活動や、自然と共存するまちづくり活動の核にもなっており、緑地、河川や歴史的建造物などの地域資源を活かしたまちの魅力づくりも求められており、地区内だけでなく、地区外からの来訪者もこういった地域資源に親しめるよう、これらと結び散策ルートの整備などの環境整備が求められており、拠点の保全・活用とともに地域全体でのネットワーク化など取り組みを進めることにより、地域の環境アメニティの向上につながることを期待されている。

課題

- ・開発が進むなか、緑豊かな生活環境を確保するため、緑地の保全、活用が求められている。
- ・地区の骨格となっている河川に親しむための親水拠点の拡充が求められている。
- ・まちと共存する自然を保全するため、地域と協力しながら、流域での水循環の再生への取り組みが求められている。
- ・地域の魅力となっている緑、河川、歴史的建造物などの地域資源について地域と協力した保全・活用が求められている。
- ・地区内外の市民が地域資源に親しめるよう、緑地や親水拠点を結ぶ歩行者ネットワークの整備が求められている。
- ・少子高齢化の進展が想定される中で、文化活動やまちづくり活動、コミュニティ活動などの様々な区民活動において、区民の交流による活気や活力の創出を図る取組、支援が求められています。

将来ビジョン(中長期)

■瀬谷区及び泉区都市計画マスタープラン「まちづくりの方針」に次のように位置づけられています。

○水と緑の基本軸づくり

川と周辺に連なる緑地をネットワークすることによって、だれもが身近な水と緑の環境に親しめるようにするとともに、地域の歴史的な環境や固有のたたずまいを整備・保全していきます。

- ・和泉川では、自然環境に配慮しつつ区民が散歩できるよう、5つの水辺や周辺の公園・緑地を結ぶネットワークを形成します。
- ・阿久和川では、源流域である三ツ境、長屋門公園から阿久和川遊水地までを結ぶ散策ルートの整備を進めます。阿久和川遊水地は、近接する阿久和大久保原公園など、周辺の自然環境に配慮しつつ、区民が楽しめるよう、整備を進めます。

○「水と緑の2大拠点(北の拠点、南の拠点)づくり」

- ・宮沢・蟹沢緑地保全地区や東山緑地保全地区に加え、宮沢ふれあいの樹林などのまとまった緑地についても、土地所有者や地域の協力を得ながら、特別緑地保全地区に指定するなど、保全を進めます。
- ・和泉川の5つの水辺では、治水対策を進めるとともに、誰もが安全に水辺に近づけるよう親水性のある施設を整備します。
- ・長屋門公園や瀬谷狹谷公園など南の拠点の核となる公園については、歴史的建造物や湧水などそれぞれの特長を生かした公園づくりを進めます。

○地域で取り組むネットワークづくり

- ・水源となる湧水を保全するとともに、流域の住宅地を中心とした雨水浸透を進め、健全な水循環の再生をはかります。
- ・河川の増水を防ぎ、水循環を再生させるため、建物等での雨水貯留、歩道や駐車場の透水性舗装や敷地内での浸透施設の設置を進めます。

○快適に住み続けられる居住環境づくり

- ・区民が快適に、安心して住み続けられる居住環境の形成に向け、うるおいのある良好な住宅地を形成するとともに、生活利便性の向上をめざし、活気のある駅周辺のまちづくりや活力の創出を進めます。

○快適に利用できる交通ネットワークづくり

- ・子ども、高齢者、障害児・者、外国人など区民誰もが、安心して、安全に、自立的に移動できるように、人や環境にやさしい、快適に利用できる交通ネットワークづくりを進めます。バスや鉄道などの公共交通利用を促進するとともに、徒歩や自転車、マイカーなど多様な交通手段を選択できる交通ネットワークづくりを進めます。

○安心、安全、健康によるくらしやすいまちづくり

- ・子ども、高齢者、障害児・者、外国人など区民誰もが、安心して安全に、また健康的にくらせるように、自然的環境を保全しつつ、くらしやすさを高めたまちづくりを進めます。
- ・市民交流などの活動ができる文化・教育施設などの整備を検討し、区民活動の場づくりを進めます。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
水と緑の保全活動等に係わる市民の人数	人	水と緑の拠点で保全・活用に係わる活動に参加した市民の延べ人数	市民参加により水と緑の保全・活用に係る活動が行われている。	3,800	平成16年度	平成22年度
長屋門公園の利用者数	人/年	歴史的建造物を活用した長屋門公園でのイベント参加者数	水と緑の拠点やネットワーク整備により、市民利用が行われていることで、イベントを通じて地域資源の活用が行われている。	13,619	平成16年度	平成22年度
ボランティア団体数	団体	各種ボランティア活動に携わる団体数	やさしさ交流拠点等の整備により、ボランティア活動が活発になる。	119	平成16年度	平成22年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・緑の拠点を確保・整備する。</p>	<p>(基幹事業)長屋門公園整備 阿久和大久保原公園整備 和泉川流域地区 東山緑地整備事業 宮沢緑地整備事業 泉の森緑地整備事業 中田宮ノ台緑地整備事業 鍋屋の森水辺広場整備工事 (提案事業)新橋地区ケアプラザ・コミュニティハウス整備事業 やさしさ交流拠点整備(地域ケアプラザ・福祉保健活動拠点・精神障害者生活支援センター・区民活動セン</p>
<p>・水の拠点を整備する。</p>	<p>(基幹事業)鍋屋の森水辺広場整備工事 (提案事業)親水拠点整備事業(阿久和川遊水地)</p>
<p>・水と緑の拠点を結ぶネットワークを形成する。</p>	<p>(提案事業)散策ルート計画検討 相沢川プロムナード 和泉川プロムナード</p>
<p>・水循環の再生への取り組みを進める。</p>	<p>(基幹事業)長屋門公園整備 阿久和大久保原公園整備 阿久和向原第二公園 東山緑地整備事業 宮沢緑地整備事業 泉の森緑地整備事業 中田北緑地整備事業 境川圏域阿久和川流域貯留浸透事業 境川圏域宇田川流域貯留浸透事業 境川圏域和泉川流域貯留浸透事業 (提案事業)雨水貯留施設整備事業 雨の貯金箱設置事業</p>
<p>その他</p>	

